

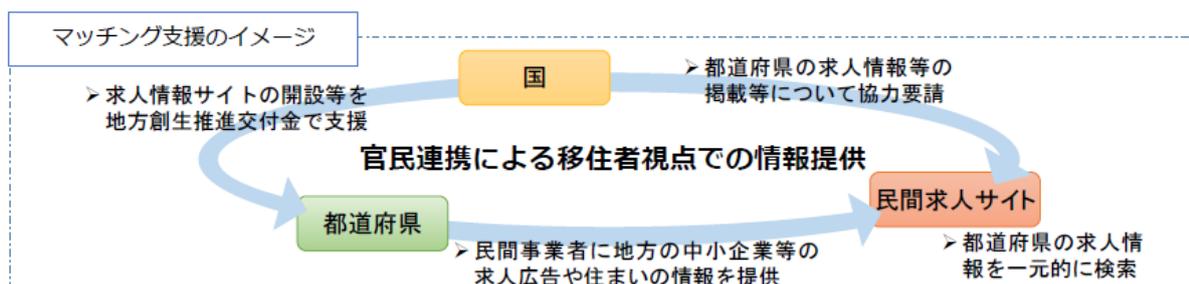
みたけ創生!!総合戦略の一部改訂について

■改訂の概要

「わくわく地方生活実現政策パッケージ」における移住支援事業の実施に伴い、当該事業の成果指標（K P I）として「東京圏からの移住就業者数（年間）」を追加する。

■「わくわく地方生活実現政策パッケージ」における移住支援事業とは？

「わくわく地方生活実現政策パッケージ」は、東京一極集中の是正や地方における担い手の確保等を目的として国が策定した基本方針のもと、若者を中心としたU I J ターン対策の強化等を行うもの。このひとつの柱として、U I J ターンによる起業・就業者の創出があり、移住者の就業に対しマッチング支援の強化を推進している。



岐阜県においては、既存のマッチングサイト（ジンチャレ）を一部改修し、当該サイトの求人情報を使用して移住した者に支援金を支給（補助）することとした。

支援金の交付にあたっては、市町村が窓口となり交付する。地方創生推進交付金として、国から1/2、県から1/4が支出される。

■みたけ創生!!総合戦略の一部改訂箇所

《基本目標 4 モノ・コトが元気》

施策 1 「みたけ暮らし」の価値の磨き上げによる住みたい、住み続けたい環境の整備中、東京圏からの移住者受入体制に関する成果指標を追加

具体的な施策・事業

数値目標

移住者数（相談窓口経由）	0人(2014年度) → 20人(2019年度)
観光入込客数	51万人(2014年度) → 53万人(2019年度)

施策1 「みたけ暮らし」の価値の磨き上げによる住みたい、住み続けたい環境の整備

【施策概要・目的】

移住・定住に向けては、御嵩町での暮らしの価値の明確化と磨き上げを行うとともに、価値観を共有できる人にターゲットを絞ったプロモーションを展開していくことが有効です。

本町の魅力である豊かな自然環境や、環境モデル都市への取り組みを中心とした「みたけ暮らし」の魅力や情報を効果的に発信し、人を呼び込みます。また同時に、住み続けてもらうための住まいの場の提供など、居住環境の整備を進めます。

定住を促進する上では、町民のまちへの愛着も大切な要素となります。町民自身がまちに魅力を感じ、それを発信していけることは、外からみたときのまちの魅力にもつながっていきます。シビックプライド（まちに対する誇りや愛着）の醸成により、まちづくりの担い手の育成や、町民主体のシティプロモーションを進めます。

KPI	基準値(2014年度)	目標値(2019年度)
移住交流・子育て支援ポータルサイトアクセス数(月間)	—	3,000人/月
空き家の改修支援件数(5年間累計)	—	10件以上
東京圏からの移住就業者数(年間)	—	1人以上

追加箇所

【具体的な事業】

事業1 移住定住の促進

空き家バンクや移住交流に関する情報、子育て支援に関する情報、仕事、町内企業についての情報などを包括するポータルサイトを構築するほか、各種移住相談対応や移住のための助成等の支援制度の創設、プロモーション活動や魅力の発信を行います。また、国や岐阜県、他の自治体と連携を図りながら移住者を受け入れる体制を整えます。(移住交流・子育て支援ポータルサイト構築事業、東京圏からの移住就業者支援事業)